

第187回ギャラリー展



【第187回ギャラリー展のご案内】

ノーベル賞生理学・医学賞を、様々な種類の細胞に変化できるiPS細胞を作製した山中伸弥先生が受賞しました。臨床医としては「ジャマナカ」という残酷なあだ名をもらっていたとか。

研究医に転身しての偉業、明日を信じてがんばりたいものです。

第187回ギャラリー展は、荒尾市府本の末安窯末安英介作品40点を展示します。

父洋介氏より末安窯の跡を継いだ二代目末安英介様は昭和15年生まれの中堅で熊本の伝統工芸後継者グループ「青匠会」にも所属し、数回にわたる日本伝統工芸展入賞、その後、数々の個展を開催され好評を得ている作家です。

小代焼きは1632年細川氏が肥後に入国したおりから続く伝統の焼き物です。その伝統を生かしながら焼き締めの方法を駆使した新しい作品を誕生させ「使いやすさと趣のある遊び心を念頭に置き」工芸としての小代焼を作陶されています。

気ままな単窯を駆使し作り出し、人柄のあらわれた使いやすく、ぬくもりのある、あきない作品をお楽しみください。

忙しいあなた、スーパーの品も小代焼の器に一手間かけて装ってみませんか。円満な家庭が生まれることでしょう。

心豊かな世界、想像していただければ幸いです。お楽しみください。

第187回ギャラリー展

ちょっとした一手間

末安 英介 作陶 展(1)

平成24年 10月9日~11月9日